



**市民の意見30の会・東京
2006年1月～2月会計**

1. 収入	
一般会費	464,000
協力会費	121,700
敬老会費	115,900
障害者会費	5,500
(会費小計)	707,100
カンパ	189,828
ニュース販売	38,920
バッジ等販売	26,528
集会参加費(*1)	5,400
銀行利息	13
立替金精算(*2)	31,168
預かり金(*3)	163,140
仮入金	13,000
収入計	1,175,097
2. 支出	
印刷費(*4)	198,518
発送費(*5)	139,042
通信費(*6)	30,957
事務用品(*7)	62,630
編集費(*8)	13,200
会場費	4,000
交通・運搬費	5,000
賛同費(*9)	3,000
事務所費	220,000
光熱費	21,785
送金手数料	1,590
雑費(*10)	28,000
預り金精算(*11)	250,370
立替金(*12)	672,945
支出計	1,651,037
3. 収支	
前月からの繰越	-475,940
次月への繰越	4,086,714
計	3,610,774
残高の内訳	
会基本会計	2,157,228
条約基金	176,715
次期意見広告	1,326
F/I 基金	1,243,295
預り金	32,210
計	3,610,774

注 (*1)2/10 読者懇談会 (*2)光熱費と電話料の意見広告運動分担分 (*3)意見広告への賛同金など (*4)内 News No. 94 印刷費¥190,398 (*5)内、News No. 94 発送費¥97,784 (*6)内、biglobe ¥4,200 他は電話料 (*7)内、宛名ラベル¥49,000 (*8)内、『読売年鑑』¥6,500 (*9)反安保実参加費 内、粗大ごみ処理費¥24,000 残りはメールボックス修理費 (*11) 意見広告へ (*12) F/I 基金から「市民意見広告運動」の「九条バッジ、シール作製費を立替え。

◆「読者のお便り」欄には、前号の太田昌国さんの文章への反響が載っていますが、ほかにも、酒井啓子さん、古川純さん、丸山和夫さん、小野純一さんらの論考や報告にとてもよかったですというお便りを多くいただき、編集集としてとても嬉しく思つております。連載の特集も好評でした。

◆偽メール問題での民主党のお粗末さをひとまず置いても、議論らしい議論もなく本年度予算が国会を通過し、米軍再編への無条件協力の政策が進行している現状には暗澹とします。各地域における市民の運動がますます重要になつてきました。

◆前号の姫路の報告に続き、今号は沖縄、岩国、相模原、京都です。こうした地域での活動報告はそれ以外の地域での運動に励ましを与えてくれます。皆さんの関わつ

と作者のまつだたえこさんの快諾を得て転載させていただきました。これからも登場していただく予定です。なお、今号の目次に並ぶ筆者の数は、男女同数です！

◆別掲の「お知らせとお願い」にありますように、この「編集後記」の筆者も交代となります。これまでのお力添えに感謝するとともに、新たな編集体制へのご協力をおりたいします。次号の編集担当者は、皆さんからの、マンガ、短歌、川柳の投稿も歓迎するので、ぜひ、と希望しています。

◆私は編集実務からは引退ですが、運動に

ておられる運動のご報告をお待ちします。◆前号で紹介されている姫路の「街頭興行」が発行する「かわら版」に、優れた4コマ漫画が連載されています。同グループ

橋まで歩きました。◆彼岸が過ぎると夜明けが少しずつ早くなります。これを書いている午前5時半、すでに空は白みだしており、雀の鳴き声も聞こえています。皆様もお元気で！（YY）

会計係より

今期も連続して黒字会計です。收支だけ見るとマイナスのようですが、これは「九条実現バッジ」の制作費を「F/I 基金」から立替えためで、いずれ返還されます。会の基本会計は25万円以上の黒字になつています。ありがとうございました。バッジやシールなどの売れ行きも依然好調です。ひきつきよろしく。なお、前期の会計報告の今期への繰越金の数字に誤りがあり、実際より少くなつっていました。お詫びして訂正します。

は出来る限り参加し続けるつもりです。3月18日のWPNの行動にも加わり、75歳になつての初デモとして、日比谷から数寄屋